

知的資産経営報告書2017

有限会社谷田建設



目次

- 専務あいさつ

当社は創業してまもなく50年を迎え土木業から産業廃棄物処理業となった会社です。「廃棄物」という言葉も昭和46年に生まれた言葉で世間から見ると悪いイメージを持たれていると思います。しかし、時代の流れか佐賀県産業廃棄物協会の名称が、佐賀県循環資源協会と改名され「廃棄物」という言葉がなくなったのです。今後は、処分するだけでなく廃棄物から新しい物を創り出す時代だと確信しております。今後も将来の子供達が快適に生活できるような環境にしていくよう邁進して参ります。



有限会社谷田建設
専務取締役 谷田将拓



専務あいさつ

- 開示対象に向けたメッセージ

一年間で3億8121万トン^{※1}という大量の産業廃棄物が発生しています。このままいくと、2030年には、地球2つ分の資源が必要だと言われています。今の子どもたち、その子どもたち、またその子どもたちの時代へ、この美しい地球を美しい心で一緒に引き継いでいきましょう。一刻も早く「捨てるから創る」を実現し「廃棄物」の言葉を資源に変えていきましょう。

- 報告書の目的、会社の強み、将来ビジョン等

現在、三大都市以外の地域の平均人口は約224万人で2050年には半分の約114万人^{※2}になると言われています。三大都市に人口が集まり地域の人口が減り、新たなITやアプリ開発の職が増える中でこの業界がいかに必要かを伝え、3K（汚い、きつい、危険）のイメージ払拭を図ると共に若手社員で溢れる和気あいあいとした風土を作っていきます。

※1産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成23年度実績／環境省による発表）

※2 国土交通省抜粋



経営理念

安心のまちづくり

谷田の安心とは、心地良い地球を創ること

谷田の安心とは、循環型社会を創ること

谷田の安心とは、生き甲斐を持って一生働けること



取組方針

- お客様にも幅広く対応する方針
- 今までの事にとらわれず、お客様へ必要なモノコトを提供する方針。
- 社員教育を行い人財となします。



事業概要



中間処理施設



沿革

沿革		
年	取り組み	トピックス
昭和46年	谷田琢雄が谷田重機の創業	土木事業として開業
平成元年	(有)谷田建設設立	環境事業が軌道に乗る
平成5年	神埼事業所、焼却炉の許可を受ける	業務の効率化
平成6年	織島事業所、中間処理業の許可を受ける	佐賀県で初めてクラム車を導入
平成7年	本社を三日月町から大和町へ移転	佐賀市の入札に進出
平成17年	初代社長、谷田琢雄逝去、現社長就任	
平成22年	長男将拓が入社	事業継承が確実
平成26年	軽量盛土用土壌固化材 特許取得	初めてリサイクル商品が完成
平成27年	みずすまし 特許取得	農業向けのリサイクル商品が完成
平成28年	みずすまし 県のリサイクル認定制度に認定される	
平成29年	軽量盛土用土壌固化材 トライアル発注制度に採択	
平成29年	三日月町へ事業本部開設	本社機能も事業本部へ

事業（業務）プロセス



我社の強み

① 広報

- ・ 営業知識・マナーに長けたベテラン営業マン
- ・ 見やすいホームページ
- ・ 地域の清掃活動

② 商談・見積

- ・ 社長と専務が多数の協会、組合の役員をしている事から得られる情報収集力
- ・ 経験を元にした廃棄物選別の目利き力

③ 受注

- ・ わかりやすく作られた自社オリジナルの契約書
- ・ 電子マニフェストの導入

④ 引取日程調整・回収

- ・ 1冊のノートをもとに毎日のスケジュールをデータ化し共有。
- ・ 一般的な車両より素早く回収できる特殊車両“クラム車”を使用する事による効率の良い作業

⑤ 中間処理

- ・ 作業手順書
- ・ 多機能フォークリフトによる作業
- ・ 独立採算

⑥ リサイクル最終処分

- ・ 特許商品、県の認定を受けた商品
- ・ 埋立容量65万m³の最終処分場

⑦ 顧客提供価値

- ・ 安定型埋立最終処分場と多品目のリサイクル事業の適正処理による安心の提供。



人的資産

選別作業風景



集合時間



解体工事風景



事業本部社内

組織・技術資産

廃瓦のリサイクル



施工事例
佐賀大学医学部付属病院 駐車場

**瓦チップで
防草対策！**

Before

毎年かかっていた除草作業が
なくなりました。

After

The complex block contains a vertical sequence of images and text. At the top, it identifies the project as '佐賀大学医学部付属病院 駐車場' (Saga University Faculty of Medicine Hospital Parking Lot). A red dashed box highlights the headline '瓦チップで防草対策！' (Weed prevention with broken tiles!). Below this, a 'Before' photo shows a parking lot with weeds. A central inset photo shows workers in white uniforms installing a layer of red crushed bricks. A green arrow points from the 'Before' photo to the 'After' photo. The 'After' photo shows the completed parking lot with a clean, weed-free surface. Text at the bottom states '毎年かかっていた除草作業がなくなりました。' (Weed maintenance that was done every year is no longer needed.). The TAINIDA logo is in the bottom right corner.



組織・技術資産

・みずすまし（瓦チップと石膏ボード）

特許取得！ 廃石膏リサイクル土壌改良材！

佐賀県
リサイクル
製品認定

国産機油の
形成促進
排水性向上で
空気層を拡大させる

みずすまし
(前状1号・粉状2号)
特許第5652276号

土壌改良剤です。
☆根圏の環境を改善し健全育成に貢献
元気な植物は対病害虫抵抗力がつかます。

環境保全に考慮して
「土壌環境基準」をクリア！
全ての動植物の健全育成を促します。

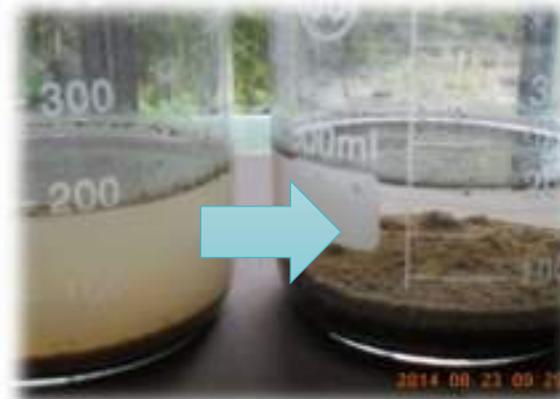
製品の主な成分：
水溶性カルシウム・珪素・ポリイオン系ポリマー・マグネシウム
*注意 腐食性のある、水溶性塩類(硫酸系等)は効果は低減します。
※必ずお読みください。

製品形状：ホリ袋20kg入

販売実績：JAI女・JA雄勝産 各種イチゴ栽培（JAI三浦大1産実神境）
コスモス園（野宮2号） 各種作三浦りんご園 神宮産6号りんご園
花丹産日産舎 スカシ（大津4号） 実納園（11号）

成分分析
全窒素(N) 0.02%
全リン(P) 0.03%
全カリ(K) 0.05%
全カルシウム(Ca) 0.05%
全マグネシウム(Mg) 0.05%
全珪素(Si) 0.05%
全鉄(Fe) 0.05%

お問い合わせ先は **有限会社谷田建設**
〒840-0202 佐賀県佐賀市東区下町1-4-10
TEL: 092-12-9929 FAX: 092-12-9038



特許証
特許第5652276号

発明の名称 土壌改良剤製造方法

発明者 佐賀県佐賀市東区下町1-4-10 有限会社谷田建設

発明者 野田 隆

特許庁長官 特許第5652276号
平成27年12月11日 特許庁長官 野田 隆

特許代理人 伊藤 仁
〒840-0202 佐賀県佐賀市東区下町1-4-10

有限会社谷田建設
〒840-0202 佐賀県佐賀市東区下町1-4-10



組織・技術資産

・ 軽量盛土用土壌固化材（石膏ボード）



情報資産



LINEグループを作成して
情報共有を図っています。



自社独自の専用ソフトの導入

- ・ マニフェスト管理
- ・ 販売管理
- ・ 入出金の経理管理
- ・ コンテナ管理等



情報資産



オリジナル管理表

項目	内容	単位	数量	金額	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

データ化

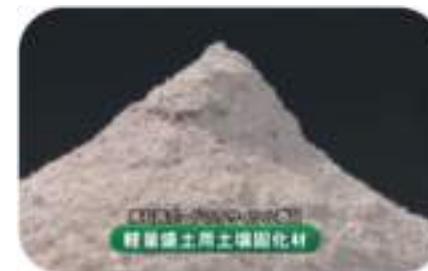
独自オリジナルの予定表



風土資産

チャレンジ の 風土

特殊車両の導入や元々埋立されている物から限りある資源としてリサイクルの新商品の開発を行っている。リサイクル商品開発を行うことによって最終処分場の延命化にも繋がる。



伝統

これまで祖父から谷田重機として始まった谷田建設ですが、佐賀県で初めてユンボ（重機）を導入。そして、父の時代では佐賀県で初めての特殊車両のクラム車の導入をした。

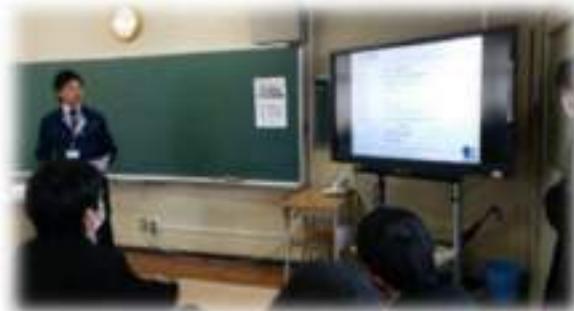


風土資産

Jobstudy キャリア教育（次世代の担い手育成）2013年～
佐賀県内の中学校の授業の様子



トップインタビュー
佐賀新聞 掲載



新年のあいさつ
ぶんぶんテレビ 放送

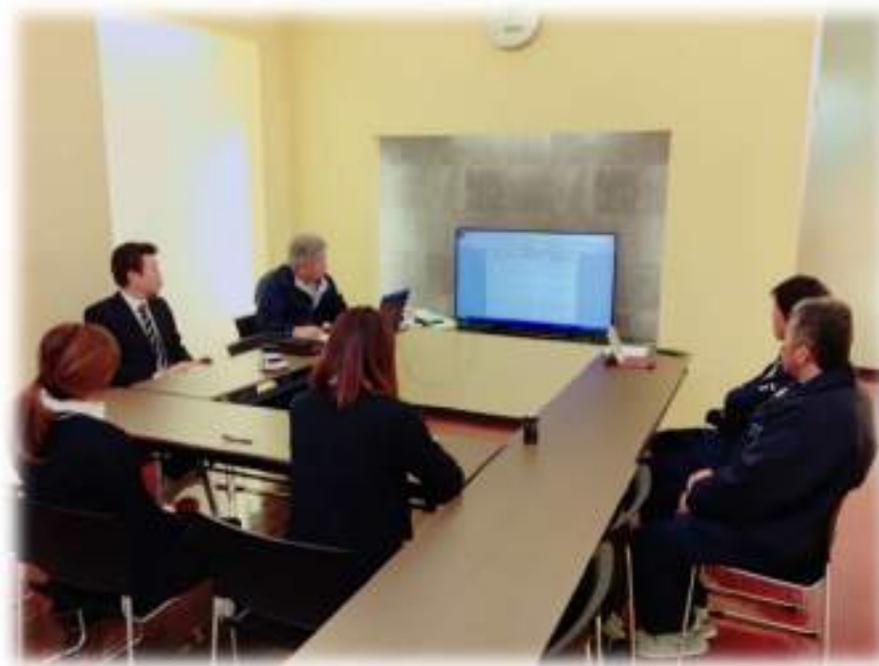


理念資産

- 経営理念（毎年、短期経営計画書の発表会を行い、また毎月の経営会議開始前に経営理念、経営方針の唱和を行って浸透させている。）



短期経営発表会



定期的に行われる会議

理念資産

- CSR活動 地域貢献

山王事業所周辺



本社周辺



佐賀県産業資源循環協会を通して不法投棄一斉清掃活動の様子



地元へ子供と一緒に会社見学の様子



関係資産

- 協力者（最終処分場のドクター（長野先生）がいる。）
- 県外の協力会社（日頃から、情報交換を行っているため、信頼関係を構築できている。）



長野先生の立会いの下地元説明会



簡易的な水質検査

物理的資産

- 施設（安定型最終処分場を保有している。多品目処理施設がある。）
- 設備（クラム車を保有している。ガラパゴス改良機。重機、多機能（回転する）なフォークリフトがある。）

中間処理施設

・ 第一織島事業所



・ 今古賀事業所



・ 第二織島事業所



・ 山王事業所



・ 安定型最終処分場



・ ガラパゴス改良機



・ クラム車



・ 重機



経営課題と戦略

SWOT分析（㈱谷田建設分析）

	強み (Strenght)	弱み (Weakness)
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社で解体工事から最終処分まで業を行える。 ・ ベテランの社員がいる。 ・ 他社と比べて取扱い処理物の品目が多い。 ・ 特許商品、自社オリジナル商品がある。 ・ 全社員お客様第一主義で行動している。 ・ クラム車など特殊車両や設備が整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全従業員の平均年齢が53歳で若手社員の獲得が課題。 ・ 次世代へ技術継承する若手社員の教育が課題。 ・ 事業所が点々としていてコミュニケーションがとれるようにする課題。 ・ 新規事業やリサイクル商品の開発途中が多くあり成果を出す課題。 ・ マニフェストの枚数が多すぎるので効率化する課題。 ・ 女性が現場で働きやすい環境づくりが課題。 ・ 3K（きつい・汚い・危険）のイメージが強い
外部環境	機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理法が改正され、お客様の適正処理の意識が高まっている。 ・ 空き家対策特別措置法が施工された。 ・ 国、県がリサイクルの取り組みへの推進。 ・ 中国の廃プラスチック受入れ抑制に伴う、国内での廃プラスチック埋立処分の需要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化が進行して人口が減っている。 ・ 規制強化につながる法改正。（廃水銀の処理等） ・ 他県でAI選別機械を導入したT商事の佐賀県への新規参入の懸念。

経営課題と戦略

外部環境と知的資産を踏まえた今後のビジョン	①	最終処分場の延命化
	②	環境保護の為、廃棄物（資源）処理だけでなく廃棄物（資源）から新たなものを作り出す製造業としての展開
	③	イメージアップ向上
今後のビジョンを実現するための仕組み	<p>1. 人的資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な人脈 ・ベテランの目利き <p>2. 組織・技術資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップサービス ・特許・新製品開発 ・独自のマニュアル ・独自のスケジュール管理 <p>3. 情報資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エバーノート、LINEの活用 ・電子マニフェスト販売管理ソフト <p>4. 風土資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ精神 <p>5. 理念資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営会議での理念・方針の唱和 <p>6. 関係・物理的資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力者・協力会社、特殊車両保有、安定型最終処分場、多品目処理施設 	

将来に向けた価値創造・ビジネスモデル

【現在】

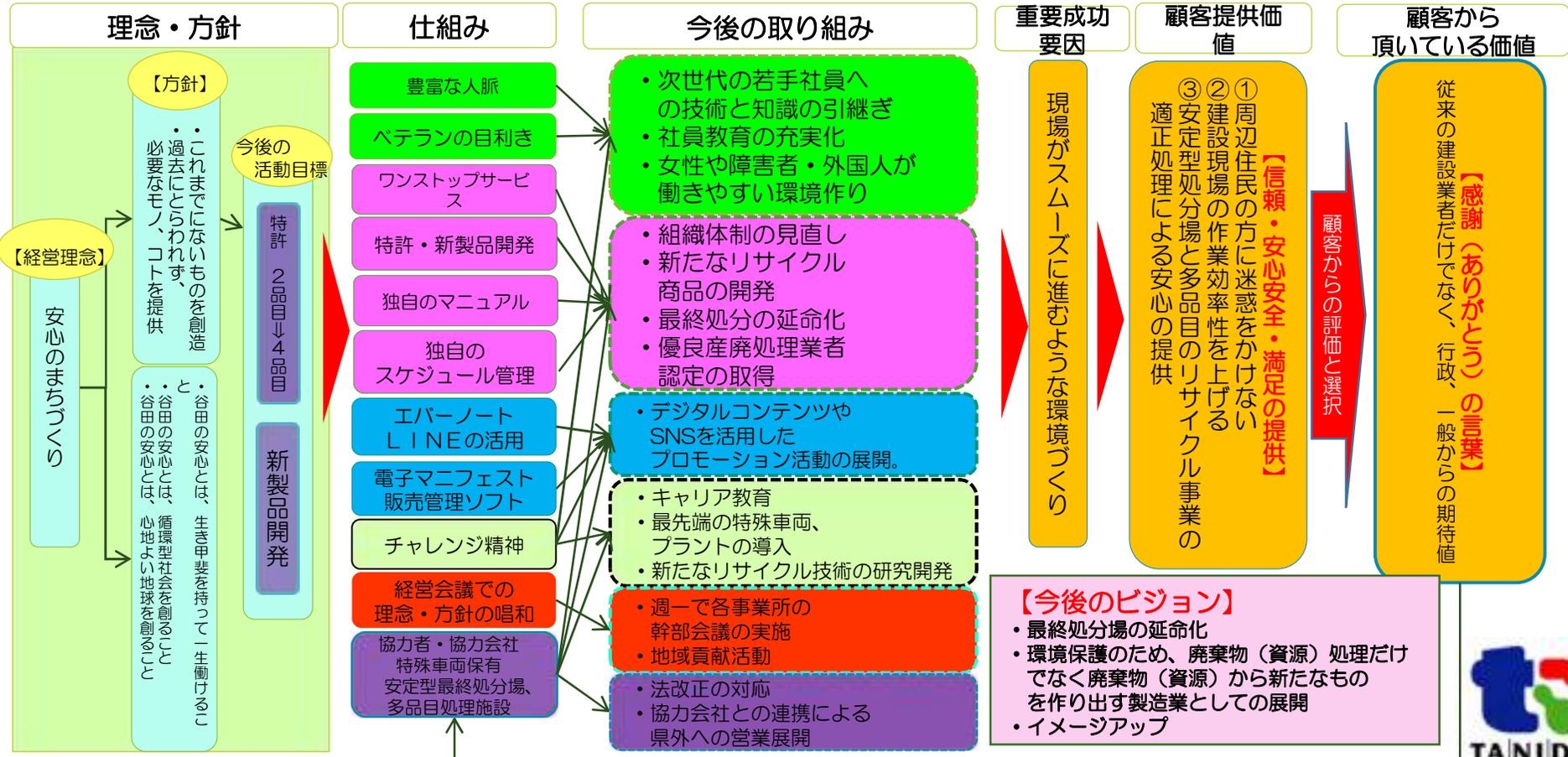
K
G
I
・
K
P
I

・売上高	440,000千円
・新規採用数	新卒 1名 中途 2名 (内女性1名)
・独自リサイクル商品の品目	3品目
・技術管理者	17名
・その他有資格者	6名
・クレーム数	10件

【将来】

・売上高	1,000,000千円
・新規採用数	新卒 5名 (内女性1名) (内障害者1名) (CSR担当者) 中途 1名
・独自リサイクル商品の品目	5品目
・技術管理者	22名
・その他有資格者	11名
・クレーム数	8件

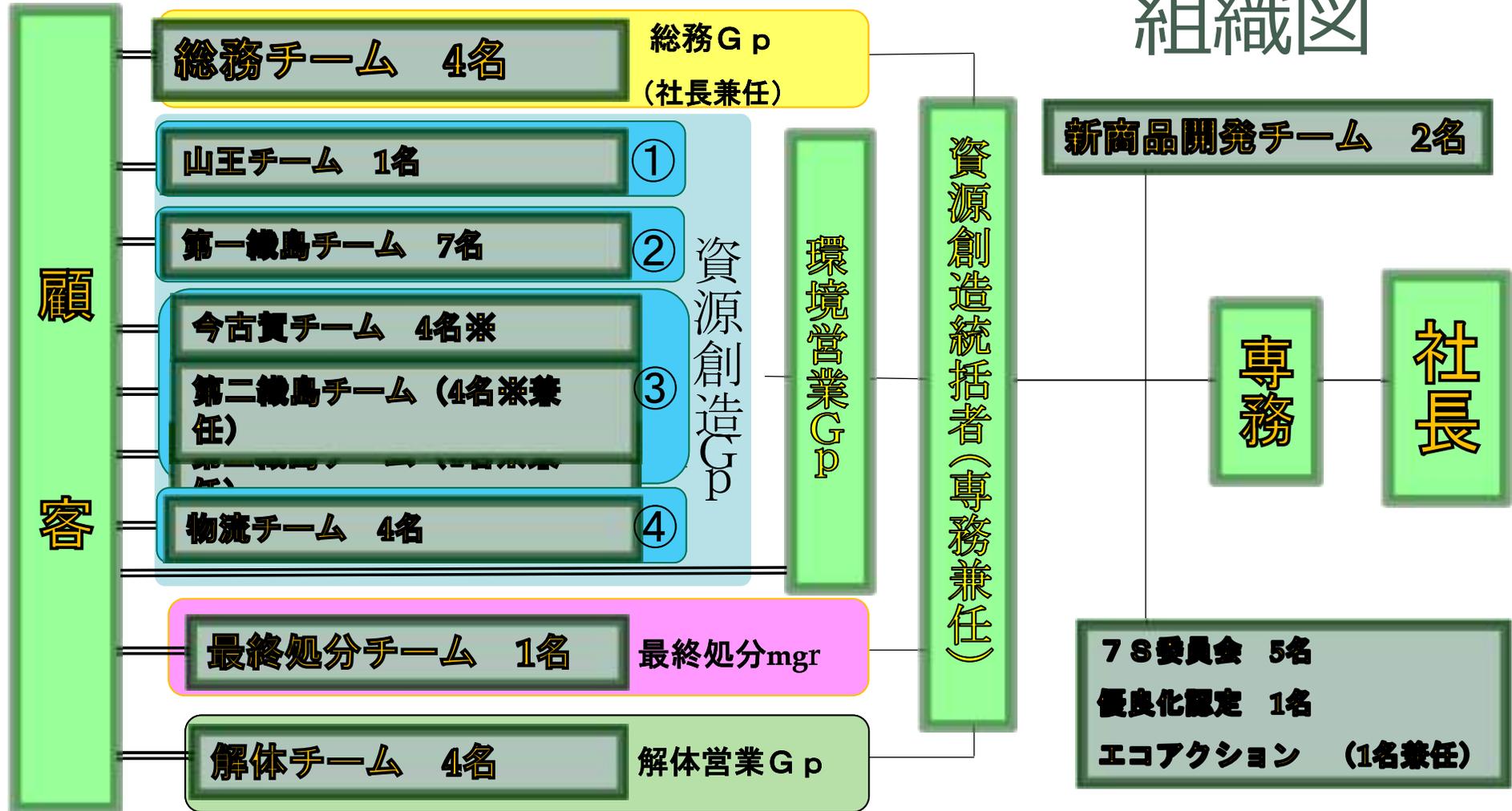
将来価値ストーリー



アクションプラン

知的資産	項目	具体的内容	目標年度
人的資産	<ul style="list-style-type: none"> 次世代の若手社員への技術と知識の引継ぎ 社員教育の充実化 女性や障害者・外国人が働きやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ベテランと若手を組ませて実践させながら目利きの技術を習得させる。 資格取得の奨励、勉強会の実施 トイレ男女別にする。女性が好むようなユニフォームに変更、建屋での作業を実現。ユニバーサルデザイン導入。外国人向けの作業マニュアル動画等の作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 今期～ 今期～ 来期～
組織・技術資産	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制の見直し 新たなリサイクル商品の開発 最終処分の延命化 優良産廃処理業者認定の取得 	<ul style="list-style-type: none"> 環境グループのリーダーが資源創造の実績を統括してもらう。資源創造統括者（専務は）各グループを統括する。 埋立処分されている外壁材(ACL)の肥料等の研究（リサイクルする事により最終処分場の延命化を図る） 今期中の優良認定取得に向けて県と協議を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 今期～ 今期～ 今期中
情報資産	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツやSNSを活用したプロモーション活動の展開。 	<ul style="list-style-type: none"> リクルート用と会社CMの動画作成。 HP運用する専属クリエイター（CSR）の採用。 SNS（インスタ）の活用。佐賀県一のHPの充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 来期～ 今期～ 今期～
風土資産	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育 最先端の特殊車両、プラントの導入 新たなリサイクル技術の研究開発 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生と留学生向けのアピールを行っていく。 選別作業の負担を軽減する選別機械の導入。 浚渫土（水草）を商品化。 	<ul style="list-style-type: none"> 今期～ 5年以内 今期～
理念資産	<ul style="list-style-type: none"> 週一で各事業所の幹部会議の実施 地域貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> 幹部会議の実施によりその週のスケジュールや進捗状況の確認。 会社見学の実施、地域清掃活動。草を刈る重機のアタッチメントのクサカルゴンを地元へ貸し出し。 	<ul style="list-style-type: none"> 今期～ 今期～
関係・物理的資産	<ul style="list-style-type: none"> 法改正の対応 協力会社との連携による県外への営業展開 	<ul style="list-style-type: none"> 廃水銀に係る法改正の対策については、収集運搬業者と処分業者との契約の締結。 協力会社と共に県外の開発に係る受注機会を獲得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今期～ 今期～

組織図



企業概要

企業概要	
代表者	谷田政行
設立	元年4月4日
所在地	佐賀県佐賀市大和町大字3180-4
電話	0952-73-9955
FAX	0952-73-9956
URL	http://www.tanida21.co.jp/
資本金	500万円
売上高	4億4000万円（平成28年度実績）
社員数	31名
事業内容	産業廃棄物処理、解体工事業
登録・免許	産業廃棄物処分業許可証 許可番号 04141010254
取引銀行	佐賀信用金庫、佐賀銀行、佐賀共栄銀行



【交通アクセス】
・九州自動車道・大和 I C より車10分



エコアクション21

認証・登録番号
0008760





協力支援機関

佐賀信用金庫

佐賀市北商工会

一般社団法人 佐賀県中小企業診断協会